

生誕 100年
高峰秀子

Hideko Takamine
Retrospective
at Her Centenary

2024

4/9(火)
5/5(日)

【会期中の休館日】月曜日

国立映画アーカイブ
長瀬記念ホール ONJUL2階

定員 310名(各回入替制・全席指定席)

各回の開映後の入場はできません。

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。【映会番号472】

生誕100年 高峰秀子

Hideko Takamine Retrospective at Her Centenary

無声映画期に松竹で天才子役としてデビューし、その後に移籍したP.C.L.と続く東宝では「デコちゃん」の愛称で親しまれ、昭和のただ中を半世紀にわたり駆け抜けた偉大な映画俳優・高峰秀子(1924-2010)。戦後の新東宝時代を経てフリーとなる頃にはスター俳優としての地位を確固とし、小津安二郎、五所平之助、豊田四郎、木下恵介、成瀬巳喜男ら名匠の作品を中心に300本余りに出演しました。この不世出の映画俳優・高峰秀子の生誕100年を記念し、デビュー作の『母』(1929)から最後の出演作にあたる『衝動殺人 息子よ』(1979)まで、多彩な役柄を演じた22作品(20プログラム)を厳選し、日本映画の黄金期に大スターへと歩みを進めた足跡を回顧します。国立映画アーカイブの大スクリーンで高峰の新たな魅力の発見に立ち会い、たえず深化し続けたその演技を是非ご堪能ください。皆さまのご来場をお待ちしています。

- 監修・演出 ④=原作・原案 ⑤=脚本・脚色
- ⑥=撮影 ⑦=美術 ⑧=音楽 ⑨=出演
- ⑩=解説・ナレーション
- スタッフ、キャスト欄の人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 上映分数は当日のものと多少異なることがあります。
- 不完全なプリントや状態の悪いプリントが含まれていることがあります。
- NEWとある作品はニュープリントでの上映です。

I 4/19(金)15:40 4/25(木)18:40 5/5(日)15:40

母(62分・35mm・16fps・無声・白黒) NEW

野村芳亭による大ヒット母もの映画で、夫を亡くし幼い二人の子ども(小藤田、高峰)を抱える母(川田)の苦難を見せ場たっぷりに描く。当時5歳の高峰は、これが映画初出演とは思えないほど達者な演技を見せ、涙と笑いを誘う。現存最長版と思われる神戸映画資料館所蔵の16mmプリントから、ニュープリントを複製して上映。

1929(松竹蒲田) ④高峰秀子(春子) ⑤野村芳亭 ⑥鶴見祐輔 ⑦柳井隆雄 ⑧野田高梧 ⑨小田演太郎 ⑩川田芳子、八雲恵美子、小藤田正一、奈良真養、宮島健一、吉川満子、木村健児

花籠の歌(69分・35mm・白黒)

銀座の裏通りを舞台にした下町の人情劇として、とんかつ屋の看板娘(田中)をめぐる恋の鞘当てを描く。ヒロインの妹役に扮した高峰が、松竹歌劇団の大スター「ターキー」に憧れて歌うシーンも見どころ。高峰が田中絹代の妹役に抜擢されて注目を集めた前作『新道』(1936)に引き続いて五所平之助作品に登場し、子役から少女への転換期の中で輝きを放っている。

1937(松竹大船) ④高峰秀子(浜子) ⑤平之助 ⑥岩崎文隆 ⑦野田高梧、五所平之助 ⑧斎藤正夫 ⑨坂田直根 ⑩久保田公平 ⑪田中絹代、佐野周二、徳大寺伸、河村黎吉、岡村文子、谷麗光、笠智衆



母

2 5/2(木)15:00 5/5(日)13:00

綴方教室(86分・35mm・白黒)

大人の意表をつく子どもの観点が人気を呼び、ベストセラーとなった無名の少女の作文集を映画化。綴方才能を発揮していく正子(高峰)の目線から下町の人々の素朴で健やかな日常が生きて描き出される。活躍の場をP.C.L.に移した高峰が初主演を務め、貧しいながらも朗らかに生きる少女を好演。高峰は本作と『馬』(1941、山本嘉次郎)で子役のイメージから抜け出し、俳優としてその後の可能性が認められるようになる。

1938(東宝映画・東京) ④高峰秀子(正子) ⑤山本嘉次郎 ⑥豊田正子 ⑦木村千依男 ⑧三村明 ⑨松山崇 ⑩清川虹子、徳川夢声、小高まさる、水谷史郎、瀧澤修、赤木蘭子

3 4/19(金)19:00 4/30(火)19:00 5/4(土)13:00

花つみ日記(72分・35mm・白黒)

吉屋信子の少女小説をもとに、戦前期の数少ない女性脚本家として第一線で活躍した鈴木紀子による大幅な脚色を加え、女学生たちの儂く繊細な世界を映画化。大阪・宗右衛門町のお茶屋の娘・栄子(高峰)と東京から来た転校生みづる(清水)が織りなす友愛のドラマを女性映画の名匠・石田民三が描き出している。

1939(東宝映画・京都) ④高峰秀子(篠原栄子) ⑤石田民三 ⑥吉屋信子 ⑦鈴木紀子 ⑧山崎一雄 ⑨河東安英 ⑩鈴木静一 ⑪清水美佐子、葦原邦子、林喜美子、御舟京子、三條利喜江

4 4/25(木)15:00 4/28(日)12:30 5/4(土)16:00

姉の出征(65分・35mm・白黒)

農家の娘・秀子(高峰)は姉・節子(山根)のように赤十字の看護婦となってお国の役に立ちたいと、休暇で帰郷した姉に志望を伝えるが、弟や両親の世話をすることもご奉公だと諭される。そして、隣家の青年との結婚話もあった姉は大陸で従軍するため故郷を旅立つ。静岡を舞台とする原作から変更して、小豆島でロケ撮影を行なった。

1940(東宝映画・京都) ④高峰秀子(田口秀子) ⑤近藤勝彦 ⑥眞壁博 ⑦河崎喜久三 ⑧北村高敏 ⑨鈴木静一 ⑩山根壽子、小杉義男、藤輪欣司、三田國夫、進藤英太郎、山田長正、伊東薫、小高まさる

釣鐘草(59分・35mm・白黒)

『花つみ日記』の好評を受け企画された、石田民三とのコンビによる吉屋信子原作もの。「女学生のバイブル」と称された『花物語』の一篇をもとに少女の家族愛を描き、高峰が歌った主題歌もヒットした。家庭の事情から弓子(高峰)は幼い弟・雄吉(小高)の母親代わりにならうと決意し、早く自活するため師範学校に進学するが…

1940(東宝映画・東京) ④高峰秀子(弓子) ⑤石田民三 ⑥吉屋信子 ⑦八住利雄 ⑧唐沢弘光 ⑨北辰雄 ⑩飯田信夫 ⑪小高たかし、澤村貞子、高堂典典、御橋公、河田京子、北澤彪、清水美佐子、林喜美子



綴方教室



花つみ日記

5 4/12(金)19:00 4/30(火)15:00 5/3(金)16:00

阿片戦争(115分・35mm・白黒) NEW

D・W・グリフィス監督の大作『嵐の孤児』(1921)を大胆に翻案した戦争スペクタクル映画。英国支配下の中国における愛蘭(原)と麗蘭(高峰)姉妹の受難を通して「大東亜共栄圏」建設を訴えた国策映画ながら、とりわけ盲目のヒロインに扮した高峰が阿片窟で儂げに歌うシーンで、若きスター俳優の魅力が引き出されている。

1943(東宝映画) ④高峰秀子(麗蘭) ⑤マキノ正博 ⑥崎崎啓次 ⑦小國英雄 ⑧小原譲治 ⑨久保一雄 ⑩服部良一 ⑪市川猿之助、河津清三郎、小杉義男、清川莊司、菅井一郎、進藤英太郎、浅田健三、山本礼三郎、丸山定夫、原節子、鈴木傳明

6 4/18(木)19:00 4/26(金)16:00 5/3(金)13:00

花ひらく 眞知子より(85分・35mm・白黒)

野上弥生子の長篇小説『眞知子』をもとに、新しく進歩的な生き方を求める女性の苦悩を描いたメロドラマ。東宝の助監督時代から高峰宅に下宿し、新東宝で監督に昇進した市川崑の長篇デビュー作。高峰は、学生運動の活動家(上原)に惹かれるも、やがて裏切られるブルジョア出身の令嬢役を演じている。

1948(新東宝) ④高峰秀子(曾根眞知子) ⑤市川崑 ⑥野上弥生子 ⑦八住利雄 ⑧小原譲治 ⑨河野鷹思 ⑩早坂文雄 ⑪上原謙、藤田進、吉川満子、三村秀子、田中春男、村田知英子、水原久美子、春山葉子、伊達里子

7 4/12(金)16:00 4/21(日)13:00

銀座カンカン娘(67分・35mm・白黒)

ブギの女王・笠置シズ子と高峰の共演で、ヒット曲『銀座カンカン娘』を呼び物にしたミュージカル仕立ての喜劇映画。画家志望のお秋(高峰)は学費を得るために銀座のバーを歌い歩く。所々に挿入されるギャグなどには、かつてのP.C.L.調を思わせる明朗なトーンが認められ、五代目古今亭志生生の十八番「元帳(替り目)」もたっぷり聴かせてくれる。

1949(新東宝) ④高峰秀子(お秋) ⑤島耕二 ⑥中田晴康、山本嘉次郎 ⑦三村明 ⑧河野鷹思 ⑨服部良一 ⑩灰田勝彦、笠置シズ子、古今亭志生、岸井明、服部早苗、浦辺象子、松尾文人、三村秀子

8 4/10(水)15:00 4/13(土)13:00 4/26(金)19:00

宗方姉妹(112分・35mm・白黒)

満里子(高峰)は姉・節子(田中)が夫(山村)とうまくいかないのを見かね、姉に離婚を勧めるが…。小津安二郎が初めて松竹を離れて撮った作品。『東京の合唱』(1931)以来となる小津作品で高峰は徳川夢声を真似たといわれる一人芝居のシーンをはじめ、軽妙かつ自在な演技を積み重ね、物語世界に生氣を吹き込む。小津は「勘が鋭い女優」と高峰の演技力や素質を高く評価していた。

1950(新東宝) ④高峰秀子(宗方満里子) ⑤小津安二郎 ⑥大佛次郎 ⑦野田高梧 ⑧小原譲治 ⑨下河原友雄 ⑩齋藤一郎 ⑪田中絹代、上原謙、笠智衆、山村聰、高杉早苗



阿片戦争



朝の波紋

9 4/10(木)19:00 4/21(日)16:00 5/2(木)19:00

朝の波紋(103分・35mm・白黒)

6ヵ月間のバリ滞りから帰国後の復帰第1作。貿易会社の敏腕秘書・篤子(高峰)は大手商社の営業部員(池部)をライバル視するが、やがて惹かれあふ。高見順の新聞連載小説を映画化し、戦後復興期の東京を舞台として機敏に働く新しい女性像を中心に個性豊かな人物たちを魅力的に描く。

1952(スタジオ・エイト・プロ)◎高峰秀子(瀧本篤子)◎五所平之助◎高見順◎館岡謙之助◎三浦光雄◎進藤誠吾◎齊藤一郎◎池部良◎岡田英次◎岡本克政◎沼田曜一◎香川京子◎三宅邦子◎高田稔◎滝花久子

10 4/11(木)19:00 4/13(土)16:00 4/19(金)13:00

稲妻(87分・35mm・白黒)

4人の子がいずれも父親の違う複雑な家庭。その末娘として生まれたバスガイドの清子(高峰)は、家族関係のもつれに嫌気がさし、脱出を図る主体的なヒロインを好演している。林芙美子の原作の舞台を戦後に置き換え、清子の視点を中心にした物語へと田中澄江が脚色。本作以後、高峰は成瀬作品のヒロインとして定着していく。

1952(大映東京)◎高峰秀子(小森清子)◎成瀬巳喜男◎林芙美子◎田中澄江◎峰重義◎仲美喜雄◎齊藤一郎◎三浦光子◎香川京子◎村田知英子◎根上淳◎小澤栄◎浦辺粂子◎中北千枝子

11 4/12(金)13:00 4/17(木)19:00 4/20(土)13:00

雁(104分・35mm・白黒)

森鷗外の小説の映画化で、豊田四郎にとっては停滞期を経て戦後のキャリアの足がかりとなった作品。男性の語り手が過ぎし日を振り返る原作とは異なり、成沢昌茂の脚色は高利貸しの妻となった娘・お玉(高峰)に焦点を絞り、高峰の繊細な演技を得て女性の主体性をめぐるドラマを前景化させている。

1953(大映東京)◎高峰秀子(お玉)◎豊田四郎◎森鷗外◎成澤昌茂◎三浦光雄◎伊藤嘉朗◎團伊玖磨◎芥川比呂志◎宇野重吉◎東野英治郎◎飯田蝶子◎田中榮三◎浦邊粂子◎小田切みき◎三宅邦子◎伊達正

12 4/9(火)19:00 4/20(土)15:50 4/24(木)15:00

あらくれ(120分・35mm・白黒)

親が決めた結婚を嫌がり、逃げ出した後も様々な逆境に直面する中、めげずに闘い続ける女の一代記。自然主義文学を代表する徳田秋声の原作をもとに、水木洋子が脚色。時には激情にも駆られる気丈な大正の女に扮した高峰は「自分の力で自分の運命を切りひらいてゆたくましい女性を描きたい」と語った成瀬の意向に応えている。

1957(東宝)◎高峰秀子(お島)◎成瀬巳喜男◎徳田秋声◎水木洋子◎玉井正夫◎河東安英◎齊藤一郎◎上原謙◎森雅之◎加東大介◎仲代達矢◎東野英治郎◎岸輝子◎宮口精二



稲妻

13 4/11(木)15:00 4/20(土)19:00 4/26(金)13:00

女が階段を上る時(111分・35mm・白黒)NEW

夫に先立たれて銀座のバーで雇われマダムとして働く圭子(高峰)が、男たちに翻弄されながらも生きぬく姿を醒めた一人称のナレーションで綴る。高峰は、流されながらも酒場で生計を立てていく女の悲哀を見事に醸し出している。本作の衣裳は高峰自らが担当した。

1960(東宝)◎衣雲高峰秀子(矢代圭子)◎成瀬巳喜男◎菊島隆三◎玉井正夫◎中古智◎黛敏郎◎森雅之◎団令子◎仲代達矢◎加東大介◎中村鷹治郎◎小沢栄太郎◎淡路恵子◎山茶花究◎多々良純◎藤木悠

14 4/14(日)16:10 4/23(火)19:00 5/1(木)15:00

笛吹川(117分・35mm・白黒/特殊色彩)

白黒撮影したフィルムに部分着色を施し、幻想的な色彩構成で展開する時代劇。笛吹橋のたもとに住み、武田家と運命を共にする貧しい農民一家の視点から戦国時代の合戦を描いた。高峰は15歳から老年にいたるまでの「女の一生」を演じたが、老け役のメイクでは、粘性のプラスチック材を顔に厚く塗り、竹べらで皺を彫ったという。

1960(松竹大船)◎高峰秀子(おけい)◎木下恵介◎深沢七郎◎楠田浩之◎伊藤嘉朗◎江崎孝平◎木下忠司◎田村高広◎市川染五郎◎岩下志麻◎川津祐介◎田中晋二◎中村萬之助◎渡辺文雄◎加藤嘉◎井川邦子◎安部徹

15 4/16(火)15:00 4/28(日)16:00

山河あり(127分・35mm・白黒)

ハワイに移住した二組の日本人夫婦が、過酷な労働に従事した末、ようやく幸福な日々を手に入れるが、やがて第二次世界大戦が始まり、目米のはざまで翻弄されていく。ホノルルに別荘を借りるほどハワイに傾倒していた高峰・松山夫妻が当地の日本人移民の歴史に取材した一作。高峰は衣裳管理も兼任した。

1962(松竹大船)◎衣雲高峰秀子(井上きしの)◎松山善三◎久板栄二郎◎楠田浩之◎戸田重晶(重昌)◎木下忠司◎田村高広◎桑野みゆき◎久我美子◎小林桂樹◎石浜朗◎早川保◎ミッキー・カーチス◎加藤嘉

16 4/9(火)15:00 4/14(日)13:00 4/17(木)15:00

放浪記(123分・35mm・白黒)

文壇の脚光を浴びるまでの苦闘の生活を描いた林芙美子の自伝的小説を、菊田一夫の舞台版をもとに映画化。林の小説はすでに2度映画化されていたが、高峰からの提案により3度目の映画化が実現した。成瀬作品では「浮雲」(1955)と共に高峰が最も愛着を持っていた作品で、ヒロインが仕事を通して気品を帯びていく様を表現するために映画の前半ではあえて「デフォルメされた強引な演技」に徹したという。

1962(宝塚映画)◎高峰秀子(林ふみ子)◎成瀬巳喜男◎林芙美子◎菊田一夫◎井手俊郎◎田中澄江◎安本淳◎中古智◎古閑裕◎宝田明◎加東大介◎草笛光子◎伊藤雄之助◎小林桂樹◎仲谷昇◎田中絹代



女が階段を上る時



放浪記

17 4/24(木)19:00 4/27(土)12:30

六條ゆきやま紬(106分・35mm・白黒)

伝統工芸の「ゆきやま紬」を織る北国の旧家に嫁いだ芸者上りの女性が、夫の死後、閉鎖的な共同体の中で中傷にさらされながらも懸命に生きていく姿を描く。松山善三の前衛的な演出と岡崎宏三による美しい白黒撮影を得て、高峰が体現する強い意志を持つ女性像が観る者の情動に訴えかける。

1965(東京映画)◎高峰秀子(六條いね)◎松山善三◎岡崎宏三◎小島基司◎佐藤勝◎神山繁◎毛利菊枝◎フランキー堺◎小林桂樹◎大空真弓◎杉村春子◎佐野周二◎石山健二郎◎出雲八重子◎有馬昌彦◎浜村純

18 4/13(土)19:00 4/18(木)15:00 5/1(木)19:00

華岡青洲の妻(99分・35mm・白黒)

江戸時代末期。麻酔の研究に没頭する青洲(市川)を独占しようと人体実験の被験者に志願する妻(若尾)と母(高峰)の凄絶な争いを描く。有吉佐和子の原作をもとに新藤兼人が繊細な人物造型を施し、増村保造が鋭利に演出。「意志と情熱」の権化である増村のヒロインに扮した高峰は、クロースアップに頼らずともその身体や視線を通して激しい情動を雄弁に表し、画面に緊張感をみなぎらせる。

1967(大映京都)◎高峰秀子(於繰)◎増村保造◎有吉佐和子◎新藤兼人◎小林節雄◎西岡善信◎林光◎市川雷蔵◎若尾文子◎伊藤雄之助◎渡辺美佐子◎丹阿弥谷津子◎原知佐子◎杉村春子

19 4/16(火)19:00 4/27(土)15:30

スリランカの愛と別れ(115分・35mm・カラー)

スリランカとモルディブを舞台に、工場設立のためにやってきた水産会社の社員(北大路)と宝石の買い付けにきた女(栗原)の恋愛など、4つの恋のエピソードを綴る。高峰は陰のある謎めいた雰囲気の大富豪、ジャカランタ夫人という貫禄ある役を演じ、作品に奥行きを与えている。

1976(東宝映画=俳優座)◎高峰秀子(ジャカランタ夫人)◎木下恵介◎中井朝一◎村木与四郎◎木下忠司◎北大路欣也◎栗原小巻◎小林桂樹◎津島恵子◎小野川公三郎◎片桐進◎太田博之◎ニランジャン・ペレラ

20 4/23(火)15:00 4/27(土)18:30

衝動殺人 息子よ(130分・35mm・カラー)

息子を殺害され、被害者遺族の権利獲得のために奔走する男性を取材した佐藤秀郎のノンフィクションの映画化。若山富三郎が多数の演技賞を受賞したが、夫と共に苦闘する母親に扮した高峰の品格ある演技も見逃せない。当時の高峰はすでに引退状態にあったが、木下恵介に懇願され、これが最後の出演作となった。

1979(松竹=東京放送)◎高峰秀子(川瀬雪枝)◎木下恵介◎佐藤秀郎◎砂田量爾◎岡崎宏三◎重田重盛◎木下忠司◎若山富三郎◎田中健◎大竹しのぶ◎尾藤イサオ◎高岡健二◎田村高廣◎中村玉緒◎近藤正臣◎藤田まこと◎吉永小百合◎加藤剛



華岡青洲の妻



スリランカの愛と別れ

生誕100年 高峰秀子

Hideko Takamine Retrospective at Her Centenary

4月	9		15:00 ⑯ 放浪記(1962年作) (123分)	19:00 ⑫ あらくれ (120分)
	10		15:00 ⑧ 宗方姉妹 (112分)	19:00 ⑨ 朝の波紋 (103分)
	11		15:00 ⑬ 女が階段を上る時 (111分)	19:00 ⑩ 稲妻 (87分)
	12	13:00 ⑪ 雁(1953年作) (104分)	16:00 ⑦ 銀座カンカン娘 (67分)	19:00 ⑤ 阿片戦争 (115分)
	13	13:00 ⑧ 宗方姉妹 (112分)	16:00 ⑩ 稲妻 (87分)	19:00 ⑯ 華岡青洲の妻 (99分)
	14	13:00 ⑯ 放浪記(1962年作) (123分)	16:10 ⑭ 笛吹川 (117分)	
	16		15:00 ⑮ 山河あり (127分)	19:00 ⑱ スリランカの愛と別れ (115分)
	17		15:00 ⑯ 放浪記(1962年作) (123分)	19:00 ⑪ 雁(1953年作) (104分)
	18		15:00 ⑯ 華岡青洲の妻 (99分)	19:00 ⑥ 花ひらく 眞知子より (85分)
	19	13:00 ⑩ 稲妻 (87分)	15:40 ① 母(1929年作)／花籠の歌 (計131分)	19:00 ③ 花つみ日記 (72分)
	20	13:00 ⑪ 雁(1953年作) (104分)	15:50 ⑫ あらくれ (120分)	19:00 ⑬ 女が階段を上る時 (111分)
	21	13:00 ⑦ 銀座カンカン娘 (67分)	16:00 ⑨ 朝の波紋 (103分)	
5月	23		15:00 ⑳ 衝動殺人 息子よ (130分)	19:00 ⑭ 笛吹川 (117分)
	24		15:00 ⑫ あらくれ (120分)	19:00 ⑰ 六條ゆきやま袖 (106分)
	25		15:00 ④ 姉の出征／釣鐘草(1940年作) (計124分)	18:40 ① 母(1929年作)／花籠の歌 (計131分)
	26	13:00 ⑬ 女が階段を上る時 (111分)	16:00 ⑥ 花ひらく 眞知子より (85分)	19:00 ⑧ 宗方姉妹 (112分)
	27	12:30 ⑰ 六條ゆきやま袖 (106分)	15:30 ⑱ スリランカの愛と別れ (115分)	18:30 ㉑ 衝動殺人 息子よ (130分)
	28	12:30 ④ 姉の出征／釣鐘草(1940年作) (計124分)	16:00 ⑮ 山河あり (127分)	
	30		15:00 ⑤ 阿片戦争 (115分)	19:00 ③ 花つみ日記 (72分)
	1		15:00 ⑭ 笛吹川 (117分)	19:00 ⑯ 華岡青洲の妻 (99分)
	2		15:00 ② 綴方教室 (86分)	19:00 ⑨ 朝の波紋 (103分)
	3	13:00 ⑥ 花ひらく 眞知子より (85分)	16:00 ⑤ 阿片戦争 (115分)	
4	13:00 ③ 花つみ日記 (72分)	16:00 ④ 姉の出征／釣鐘草(1940年作) (計124分)		
5	13:00 ② 綴方教室 (86分)	15:40 ① 母(1929年作)／花籠の歌 (計131分)		

■各日11:00に開館します。

展示室(7階)

【企画展】

常設展「NFA」コレクションでみる 日本映画の歴史も併設されています。

日本映画と音楽

1950年代から1960年代の作曲家たち

Japanese Cinema and Music: Composers in the 1950s and 1960s

2024年4月9日(火)～8月23日(金)

* 月曜日および5月7日(火)～12日(日)は休室

主催:国立映画アーカイブ

協力:株式会社スリーシェルス

日本において映画産業が隆盛を極めた1950年代から1960年代にかけて、作曲家たちの多くは映画界と手を結び、演奏会用作品とは一味違う魅力的な楽曲によって繁栄を力強く支えました。貴重な自筆譜や製作資料などを通じて、その功績を顕彰します。

開室時間=11:00～18:30(入室は18:00まで)
 料金(常設展・企画展共通)=一般250円(200円) / 大学生130円(60円) / 65歳以上、高校生以下および18歳未満、国立美術館のキャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方(付添者は原則1名まで)は無料
 * ()内は20名以上の団体料金です。
 * 学生、65歳以上、キャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方は入室の際、証明できるものをご提示ください。
 * 当館が主催する上映会の観覧券(オンラインチケット「購入確認メール」またはQRコードのプリントアウト)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。
 * 詳細は本展のチラシまたは国立映画アーカイブのホームページをご覧ください。



銀座カンカン娘

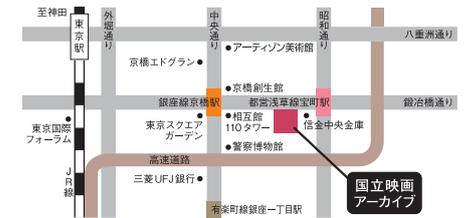
▶ チケット購入方法

	一般	高校・大学生・65歳以上	小・中学生	障害者手帳をお持ちの方(付添者1名まで)・キャンパスメンバーズ
チケット料金	520円	310円	100円	無料
オンライン販売	各上映日の3日前正午から各上映日の開映15分前まで			
窓口販売	各上映日の開映1時間前から5分前まで若干数販売			

- * 電子チケットは、当館HPより公式チケットサイトにてオンライン販売します。
- * 料金区分の違うチケットでは入場できません。差額のお支払で観覧することはできません。
- * 学生、65歳以上、国立美術館のキャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方は証明できるものをご提示ください。ご提示のない方は入場できません。
- * 未就学児、優待の方は「障害者手帳をお持ちの方または付添者等券」をお求めください。

▶ 入場方法

- * 開場は開映30分前です。
- * チケットのQRコードをスマホ画面、または印刷紙面でご提示ください。特集名、作品名は表示されませんので、お間違いのないようご注意ください。
- * 各回の開映後の入場はできません。予告篇はございません。



国立映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
 都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
 東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
 JR東京駅八重洲南口より徒歩10分

* 上映をご覧になるお客様へ: チケットをお持ちのお客様も、開映後の入場はできません。お時間に余裕をもってお越しください。

お問い合わせ: ハローダイヤル 050-5541-8600
 ホームページ: www.nfaj.go.jp



表紙: あらくれ